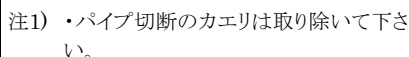


SKX® 施工手順 (VD・PD 鋼管用)

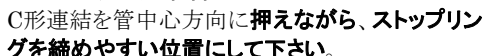
パイプ挿入量(K寸)を測り、**標線を2本**
記入して下さい。

分解せずにストップリングとキャップが接した状態で標線1まで挿し込んで下さい。

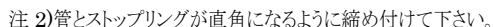


- ・滑剤の塗布は不要です。
- ・管止めがある場合は、管止めから3mm 以上あけて施工して下さい。

キャップを手締めしてパイプを固定した後、ショートレンチで**キャップ**を当て締めして下さい。



ストップリングが 2 本の標線の間かつ両端伸縮量を保った状態で、ストップリングを標準締付トルクにて締め付けて下さい。



注 3)再施工時は「施工ハンドブック」を参照して下さい。

ストップリング端面が 2 本の標線の間にあることを
確認してください。

キャップとストップリングの締め忘れのないように確認を行って下さい。

・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを緩めるだけで管と分離可能(分解不要)です。

・片側をSKXで接合し、もう一方側を、ネジきり接合の為に外面被覆を剥いて**接合している**場合、パイプメーカーによつては、鋼管と被覆の間に極微量の漏れを起こす恐れがあります。安全のため、**管端面ならびに外面被覆と管表面の境界全周をデブコン SF(輸入：販売元：株式会社 ITW パフォーマンスポリマーズ & フライズジャパン、商品番号：DV10240)**で補修してご使用下さい。

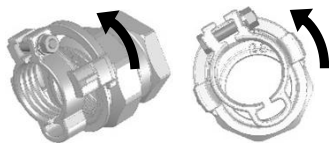
(パイプの状態についてはお問い合わせください。)

※太字：下限値

SKXストップリング（SR）交換手順

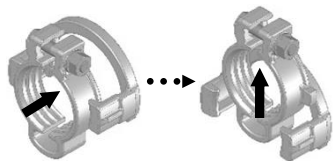
①C形連結取り外し

C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外して下さい。



②ストップリング取り外し

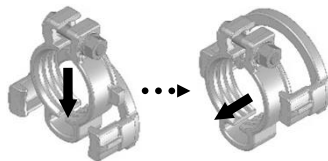
SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜いて下さい。



③ストップリング交換

適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方向に入れ、C形連結から離して下さい。

※下図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意して下さい。



④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れます。

